

令和6（2024）年度 赤麻小学校スクールプラン

明治43年12月4日創立
大前尋常小学校と赤麻尋常小学校が、
合併し、赤麻尋常高等小学校となり
ました。今年で114歳です。



赤麻小学校マスコットキャラクター
「あかまる君」です。
栃木山をモデルに、H26.8.31に
誕生しました。

めざす教職員像

温かい笑顔のチームあかま

- ◎人間性豊かで信頼される教職員
- ◎幅広い視野と確かな指導力をもった教職員
- ◎教育的愛情と使命感をもった教職員

保護者の思い・願い

- ◎思いやりのある子
- ◎自分で考え行動できる子
- ◎粘り強く最後まで頑張れる子

学校教育目標

- ◎あかるい子 ◎かしこい子 ◎たくましい子

【目指す児童像（藤岡中ブロック共通）】

夢とふるさとへの誇りをもち、たくましく未来を切り拓く児童生徒

- ◎思いやりと向上心をもち、自他を尊重する子（あかるい子）
- ◎自ら問い、考え、学び合い、高め合う子（かしこい子）
- ◎心身共に健康で、粘り強く最後までやりぬく子（たくましい子）

あかまっ子の合い言葉

<なぜ>

- あ：明るくあいさつ、進んでしよう（あかるい子）
- か：考え合い、学び合おう（かしこい子）
- ま：まっすぐ目を見て話を聴こう（かしこい子）
- こ：困難も不撓不屈で頑張ろう（たくましい子）

めざす学校像

安心・自信・意欲・チャレンジ溢れる学校

- ◎子どもにとって、『勉強がよくわかり、居がいの実感できる楽しい学校』
- ◎教職員にとって、『自分のよさを生かすことのできる、やりがいのある学校』
- ◎保護者、地域の人にとって、『親しみを感じ協力し合える学校』

栃木型コミュニティスクール

『地域とともにある学校』をめざして



【学ぶ意欲の育成】
学び合う授業

【授業力の向上】
授業研究会を通して

学校経営方針	栃木市名誉市民 山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤とする教育
	1 学級経営の充実・・・ルールの確立 自己肯定感の育成 特別支援教育や相談機能を生かした指導の推進
	2 授業力・指導力の向上・・・GIGAスクール構想の推進（ICTの活用による「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実） 授業のUD化の深化（自ら考え学ぶ意欲の育成 個に応じたきめ細かい学習指導 学び合い）
	3 道徳教育・人権教育の推進・・・いじめや差別を許さない心の育成 藤岡一中B道徳研究の成果を生かす道徳教育の推進
	4 地域とともにある学校づくりの推進・・・とちぎ未来アシストネットの活用 コミュニティ・スクールの推進 小中一貫教育の推進
5 同僚性の推進・・・「チームあかま」としての協働体制の強化 報・連・相・確の徹底 働き方改革の推進	



【学校運営協議会】 【あかまっこ体験フェスタ】

本年度の課題及び努力点

（◎学校課題 ☆小中一貫教育 斜体 R5学校評価低評価）

【学校課題】自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導の工夫
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習課題の工夫・改善を通して～

①あかるい子（やささと向上心をもち、自他を尊重できる子）	②かしこい子（自ら課題を見つけ、協働して学び合う子）	③たくましい子（粘り強く、最後までやりぬく子）
<p>ア 基本的な生活習慣の定着 ☆あいさつ・返事の日常化 ○早寝・早起き・朝ご飯</p> <p>イ 心豊かで、喜び合い、励まし合い、支え合う子どもの育成 ○道徳教育・人権教育の充実 ◎一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 (教室環境のUD化・人的環境のUD化) ☆多様性や互いのよさを認め合える特別活動の工夫とグローバル教育の推進</p> <p>ウ 学校や地域を愛し、地域とともに成長する子どもの育成 ○地域の歴史、伝統、自然を大切に ふるさと学習の充実 ○地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進（とちぎ未来アシストネットの活用） 【児童会企画の朝のあいさつ運動】</p>	<p>ア 基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付いた子どもの育成 ○基礎的・基本的な知識技能の習得 ◎特別支援教育の充実(授業のUD化) ◎ICTの活用</p> <p>イ 主体的に学び合う子どもの育成 ◎学び合いによる学習の推進 ◎自分の考えを表現する場の設定 ○多様な他者と協働し課題解決を図るグローバル教育の推進 ☆家庭学習、読書の習慣化 ○タブレットの活用促進</p> <p>ウ 学習意欲を高めるためのわかる授業づくりと学業指導の充実 ◎学びに向かう集団づくりと、立腰を心掛け目を見て話を聴く習慣の定着 ◎意欲的に取り組む授業づくり (一人一公開授業の実施)</p>	<p>ア 健康で安全な生活態度や習慣が身に付いた子どもの育成 ○教育相談の充実 ○食育の充実 ○清掃指導の強化 ☆ゲームやメディア視聴時間等を含む生活習慣の改善</p> <p>イ 運動に親しみ、進んで体力の向上に努める子どもの育成 ☆自分のめあてに向けた体力づくりの強化 ○外遊びの奨励</p> <p>ウ 失敗を恐れず、粘り強くやり抜く子どもの育成 ○挑戦する機会の充実 ○成功体験からの自己肯定感の育成 ○努力の継続指導 (日記、自主学習等) 【赤麻小の大先輩 第27代横綱栃木山の 座右の銘「不撓不屈」】</p>

本校ならではの教育 「地域の教育力を生かし、地域の中に生き、地域と一体となった教育」をすすめるために

- ◆コミュニティ・スクールの推進の充実 ◆ふるさと学習の充実 ◆とちぎ未来アシストネットの活用(学校支援ボランティア、保護者、地域の方による授業への協力と地域への貢献) ◆学校評価(自己評価及び学校関係者評価)
- ◆学校情報の積極的な発信(学校便り、学年便り、ホームページの充実) ◆保護者や地域と一体となった学校行事の実施(「あかまっこ体験フェスタ」等)